

高等学校 令和 6 年度（3 学年用） 教科 工業 科目 自動車実習②

教 科： 工業 科 目： 自動車実習② 単位数： 3 単位

対象学年：第 3 学年 コース 自動車コース

使用教科書：（ 自動車工学 1・2、自動車整備 ）

教科 工業 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】
- 工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和の取れたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技術を身につけている。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 工業技術について主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

科目 自動車実習② の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・三級自動車整備士に必要な知識と技術を理解することができる。 ・シャシに関する装置や構成備品の名称と構造、機能などを理解することができる。 ・工具や作業器具、測定機器の名称と取り扱い方を理解することができる。 ・安全作業の目的と方法を理解することができる。	・シャシに関する属装置の整備の目的と方法を理解し、適切に実習作業を実践することができる。 ・実習結果を考察し、客観的に評価することができる。 ・実習結果の評価から改善点や改善方法をまとめ、分かりやすい提示や説明することができる。 ・安全作業に留意し、適切に実習作業することができる。	・実習項目に興味、関心をもち、意欲的に実習に取り組むことができる。 ・実習作業に協調性と積極性をもって、取り組むことができる。 ・報告書などについて、求められる内容の記述と提出期限の厳守することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 自動車の整備作業 【知識及び技能】 ・三級自動車整備士に必要な知識と技術を正しく理解できる。 ・シャシに関する装置や構成部品の名称と構造、機能を正しく理解できる。 ・工具や作業器具、測定機器の名称と取り扱い方法を正しく理解できる。 ・安全作業の目的と方法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・整備作業の目的を考慮し、実習作業を適切に実践できる。 ・工具選択や取り扱い方法を適切に実践できる。 ・実習結果を考察し、客観的な評価を行い、改善点などの要点をまとめることができる。 ・実習内容や結果などを報告書にまとめ、文字や言葉などで表現できる。 ・安全作業に留意し、実習作業で適切に実践できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・整備作業に対し、興味や関心をもち、意欲的に取り組むことができる。 ・協働作業において、自分と他者の役割を理解し、協調しながら積極的に自分の役割を果たして作業することができる。 ・プリント、報告書などの提出物について、求められる内容の記述がされたものを期日厳守で提出できる。	・自動車の整備作業 1. 実習車を使った整備作業 2. シャシの教材を使った整備作業 3. 工具、作業器具、測定機器の取扱い 4. 測定、調整の方法 5. プリント、報告書 6. 小テスト、実技テスト 7. 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自動車整備に必要な知識と技術を理解することができる。 ・整備作業の目的と方法を理解することができる。 ・シャシに関する装置や構成部品の名称と構造、機能を理解することができる。 ・工具や作業器具、測定機器の名称と取り扱い方法を理解することができる。 ・安全作業の目的と方法を理解することができる。 ・目標とする理解度の達成を判断するために小テストと実技テストを行い、実技テストには責任点（合格とする点数）を設定する。 【思考・判断・表現】 ・整備作業の目的を考慮し、実習作業で実践することができる。 ・工具選択や取り扱い方法を実践することができる。 ・実習結果の考察し、客観的な評価を行い、要点をまとめることができる。 ・実習内容や結果などを報告書にまとめ、表現することができる。 ・安全作業に留意し、実習作業で実践することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・整備作業に対し、興味、関心、意欲をもって、取り組むことができる。 ・協働作業において、協調性と積極性をもって、取り組むことができる。 ・報告書などの提出物について、求められる内容の記述がされたものを期日厳守で提出することができる。	○	○	○	34
	定期考査			○	○		1

2 学 期	単元 自動車の整備作業 【知識及び技能】 ・三級自動車整備士に必要な知識と技術を正しく理解できる。 ・シャシに関する装置や構成部品の名称と構造、機能を正しく理解できる。 ・工具や作業器具、測定機器の名称と取り扱い方法を正しく理解できる。 ・安全作業の目的と方法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・整備作業の目的を考慮し、実習作業を適切に実践できる。 ・工具選択や取り扱い方法を適切に実践できる。 ・実習結果を考察し、客観的な評価を行い、改善点などの要点をまとめることができる。 ・実習内容や結果などを報告書にまとめ、文字や言葉などで表現できる。 ・安全作業に留意し、実習作業で適切に実践できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・整備作業に対し、興味や関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。 ・協働作業において、自分と他者の役割を理解し、協調しながら積極的に自分の役割を果たして作業することができる。 ・プリント、報告書などの提出物について、求められる内容の記述がされたものを期日厳守で提出できる。	・自動車の整備作業 1. 実習車を使った整備作業 2. シャシの教材を使った整備作業 3. 工具と機器の取扱い 4. 測定、調整の方法 5. プリント、小テスト 6. 報告書 7. 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自動車整備に必要な知識と技術を理解することができる。 ・整備作業の目的と方法を理解することができる。 ・シャシに関する装置や構成部品の名称と構造、機能を理解することができる。 ・工具や作業器具、測定機器の名称と取り扱い方法を理解することができる。 ・安全作業の目的と方法を理解することができる。 ・目標とする理解度の達成を判断するために小テストと実技テストを行い、実技テストには責任点（合格とする点数）を設定する。 【思考・判断・表現】 ・整備作業の目的を考慮し、実習作業で実践することができる。 ・工具選択や取り扱い方法を実践することができる。 ・実習結果の考察し、客観的な評価を行い、要点をまとめることができる。 ・実習内容や結果などを報告書にまとめ、表現することができる。 ・安全作業に留意し、実習作業で実践することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・整備作業に対し、興味、関心、意欲をもって、取り組むことができる。 ・協働作業において、協調性と積極性をもって、取り組むことができる。 ・報告書などの提出物について、求められる内容の記述がされたものを期日厳守で提出することができる。	○	○	○	42
	定期考査			○	○		1
3 学 期	単元 自動車の整備作業 【知識及び技能】 ・三級自動車整備士に必要な知識と技術を正しく理解できる。 ・シャシに関する装置や構成部品の名称と構造、機能を正しく理解できる。 ・工具や作業器具、測定機器の名称と取り扱い方法を正しく理解できる。 ・安全作業の目的と方法を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・整備作業の目的を考慮し、実習作業を適切に実践できる。 ・工具選択や取り扱い方法を適切に実践できる。 ・実習結果を考察し、客観的な評価を行い、改善点などの要点をまとめることができる。 ・実習内容や結果などを報告書にまとめ、文字や言葉などで表現できる。 ・安全作業に留意し、実習作業で適切に実践できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・整備作業に対し、興味や関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。 ・協働作業において、自分と他者の役割を理解し、協調しながら積極的に自分の役割を果たして作業することができる。 ・プリント、報告書などの提出物について、求められる内容の記述がされたものを期日厳守で提出できる。	・自動車の整備作業 1. 実習車を使った整備作業 2. シャシの教材を使った整備作業 3. 工具と機器の取扱い 4. 測定、調整の方法 5. プリント、小テスト 6. 報告書 7. 一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・自動車整備に必要な知識と技術を理解することができる。 ・整備作業の目的と方法を理解することができる。 ・シャシに関する装置や構成部品の名称と構造、機能を理解することができる。 ・工具や作業器具、測定機器の名称と取り扱い方法を理解することができる。 ・安全作業の目的と方法を理解することができる。 ・目標とする理解度の達成を判断するために小テストと実技テストを行い、実技テストには責任点（合格とする点数）を設定する。 【思考・判断・表現】 ・整備作業の目的を考慮し、実習作業で実践することができる。 ・工具選択や取り扱い方法を実践することができる。 ・実習結果の考察し、客観的な評価を行い、要点をまとめることができる。 ・実習内容や結果などを報告書にまとめ、表現することができる。 ・安全作業に留意し、実習作業で実践することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・整備作業に対し、興味、関心、意欲をもって、取り組むことができる。 ・協働作業において、協調性と積極性をもって、取り組むことができる。 ・報告書などの提出物について、求められる内容の記述がされたものを期日厳守で提出することができる。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
							合計
							105